



早稲田大学商学学術院 総合研究所 WBS研究センター 「日中ビジネス推進フォーラム(WJCF)」主催 国際シンポジウム

テ ー マ	中国市場における「省(商)圏」の実像と日本企業の商機
日 時	2014年5月27日(火)14:00~17:55(受付13:10~)
主 催	早稲田大学商学学術院 総合研究所 WBS 研究センター 「日中ビジネス推進フォーラム(WJCF)」
共 催	毎日新聞社 日中企業家高峰フォーラム 賽迪顧問股份有限公司 日本事務所 ファーイースト・パートナーズ株式会社
責 任 者	遠藤 功 早稲田大学ビジネススクール 教授
モ デ レ ー タ	柳 孝一 多摩大学大学院 ビジネススクール 客員教授
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	朱 偉徳 WJCF 事務局長
司 会	佐々木 秀 WJCF 研究員
使 用 言 語	日本語・中国語(同時通訳付き)
参 加 費	無料
メ ィ ン 会 場 定 員	400名(定員次第締め切らせていただきます)
懇 親 会 会 場 定 員	60名
場 所	東京都新宿区西早稲田 1-20-14
メ ィ ン 会 場	早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール(1階)
懇 親 会 会 場	早稲田大学 国際会議場 第2会議室(3階)
会 場 地 図	http://www.wjcf.net/pdf/map1.pdf
申 込 方 法	WEB 申込み: http://www.wjcf.net/order_info/new/366?type=1 FAX申込み: http://www.wjcf.net/pdf/moshikomi_2.pdf 参加証の発送: 開講一週間前まで、E-mailにてお送りいたします。
問 い 合 わ せ 先	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-22-3 早稲田大学 19-3号館 インキュベーションセンター12室 日中ビジネス推進フォーラム 事務局 TEL. 03-5287-5578 FAX. 03-5287-5831 担当: 佐々木

《プログラム》

時間	講師	内容
14:00-14:10	遠藤 功	開会の辞
14:10-14:50	李 樹翀	基調講演:「中国地域経済の実像と今後の見通し」 【パネラープレゼン】
14:50-15:10	坂東 賢治	習近平政権が目指す制度の現代化
15:10-15:30	太田 正人	中国における資生堂のマーケティング戦略
15:30-15:50	北澤 憲政	中国における事業展開と障害となる事柄
15:50-16:10	田中 信彦	「豊かな中国」に求められるもの
16:10-16:35		休憩
16:35-17:55	柳 孝一 各パネリスト	【パネルディスカッション】
17:55-18:00	朱 偉徳	閉会の辞
18:00-20:00		懇親会

《目的》

3月13日に閉幕した中国の全国人民代表大会(全人大。国会に相当)。政府は7.5%の成長維持を公約。キーワードは「安定成長」と「都市化の拡大」です。

直近(1~3月)の主要経済指標では、工業生産が前年同期比8.7%増と約5年ぶりの低い伸びにとどまり、消費動向を示す小売総額も12.0%増と13%台だった昨年の伸びには及びませんでした。自動車、医療、旅行、住宅など普及・拡大余地の大きい消費関連業界が好調だった一方、在庫過剰感のある鉄鋼や、市場が飽和気味のショッピングセンター、成熟し成長分野が減った電気・電子、ストック調整圧力の残る建機などは伸び悩んでいます。

広大な中国市場。マクロ的視点も不可欠なことは当然ですが、一方で、1つの「商圈」として捉えるにはあまりにも多様な内実を秘めています。周知の通り、中国には23の省や4つの直轄市、5つの自治区などが存在しますが、実はその1つ1つが国家に比肩し得る広大なマーケットを形成しているのです。中国ビジネスの戦略を練るうえでは、省ごとに照準を合わせた、いわば「省圏」を捉える視座が不可欠となります。

今回の国際シンポジウムでは、政策から判るエリアマーケットの攻略ポイントとそれに関連するビジネスチャンス、中国の地方都市でビジネスを行う際の「省圏」の考え方の理解に重点を置きます。多様化する消費市場の方向性を見極め、自社のグローバルビジネスの中期事業計画や戦略策定の一助としていただければ幸いです。

《特徴》

中国現地でビジネスを展開する日系企業の現状や課題、今後の戦略といったリアルタイムの情報を共有し、中国市場で成功するにはどうすればいいのかを議論するための国際シンポジウムです。現地における中国ビジネスの最前線を知ることで、

- ① 報道や日本にはわからない中国ビジネスの新鮮な情報を知ることができる。
- ② 中国ビジネスについて日系企業の経験値を共有することができる。
- ③ 中国市場で成功するためのヒントを得ることができる。
- ④ 中国ビジネスに関わる人脈・ネットワークを広げることができる。

《対象》

すでに中国に現地法人を設立して、中国事業の拡大を計画されている方々。

- ① 中国産業政策の動向やインフラ関連に関心のある方。
- ② 今後、中国市場の新たな事業分野へ事業進出をお考えの方。
- ③ その他、中国ビジネスの戦略策定や事業企画に携わっている方。

《講師紹介》(講演順・敬称略)

- 遠藤 功 早稲田大学大学院商学研究科(ビジネススクール)教授
「日中ビジネス推進フォーラム」代表
株式会社ローランド・ベルガー日本法人会長
カラース・ビジネス・カレッジ(CBC)学長
中国・長江商学院客員教授
株式会社良品計画 社外取締役
株式会社バイオコープジャパン 社外取締役
日新製鋼株式会社 経営諮問委員
株式会社ドリーム・アーツ アドバイザー
株式会社マザーハウス アドバイザー
長野県駒ヶ根市こまがね応援団
NHK ラジオ「あさいちばん」(ビジネス展望)レギュラー
- 李 樹翀 賽迪顧問股份有限公司(CCID)総裁
中国科学院微电子(マイクロエレクトロニクス)研究所修了、マイクロエレクトロニクス修士。
賽迪顧問股份有限公司半導体・通信産業研究センター総経理、中国計算機報社総編集長兼社長などIT関連会社の重役や北京情報産業協会副理事長などを歴任。
半導体、タブレット型ディスプレイなどIT情報化産業で長年研究に携わる。国家 ACP (Automobile Computing Platform)システム構造研究、広州市情報産業発展戦略プロジェクトなど国や地方政府の多数の研究プロジェクトを指揮。
- 坂東 賢治 毎日新聞論説委員
1981年、東京外国語大学中国語学科卒業後、毎日新聞社入社。政治部、香港支局長、中国総局長、北米総局長、外信部長、編集編成局次長を経て、14年4月より論説委員。

- 太田 正人 株式会社 資生堂 中国事業部 事業推進部長
1979年 慶應義塾大学卒業、同年株式会社資生堂入社
1986年 本社商品開発部
1990年 本社第3商品企画部
1993年 本社コスメニティー事業部コスメニティー商品企画部
2000年 本社商品開発部
2002年 本社グローバルマーケティング部
2004年 本社国際マーケティング部
2006年 本社中国事業部マーケティング開発部
2010年 本社中国事業部事業管理部
2012年 本社中国事業部事業推進部
中国現地法人5社(資生堂中国投資有限公司、資生堂麗源、資生堂香港など)の管理・サポート業務。中国導出ブランド(グローバル Shiseido、CPB、TUBAKI など)の導出業務。中国におけるEコマースの推進業務、店頭活動サポート業務、新規事業の開発など
- 北澤 憲政 ピジョン株式会社 取締役専務執行役員。中国事業本部長 兼 海外事業本部担当
ピジョン株式会社入社後約10年間の国内営業を経て、1992年に海外部配属。以来現在に至るまで海外畑を歩む。
1994年から5年間のピジョンシンガポール社長、3年間の国内勤務の後、2002年より会社の中国進出に伴い上海駐在。ピジョン上海の立ち上げを手始めに、中国事業の総責任者として指揮を執り、海外売上の上半以上を占める規模にまで成長させる。
2013年からは中国事業のみならず、海外事業全体の担当として世界中の拠点を飛び回っている。
- 田中 信彦 HRコンサルタント。
2001年から上海在住。早稲田大学政治経済学部卒。新聞記者などを経て、㈱リクルートの中国プロジェクトや大手カジュアルウェアチェーンの中国事業に参画するなど、90年代初頭から「中国」と「人材」をテーマにコンサルティングや執筆活動などを行っている。亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科(MBA)非常勤講師(日中人事・労務比較論)。早稲田大学商学学術院WBS研究センター「日中ビジネス推進フォーラム」特別講師。中国、日本における講演多数。著書に『人事・採用の基礎知識—中国編』(リクルート)、『中国で成功する人事 失敗する人事』(日本経済新聞社)など。『週刊東洋経済』に署名コラムを執筆中。NHK「クローズアップ現代」にも出演、中国の人事・教育問題を解説。ビジネス情報サイト「wisdom」の連載コラム「深層中国」は毎回数万のアクセスがある。
- 柳 孝一 多摩大学大学院ビジネススクール客員教授
1964年 早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業
1964年 野村総合研究所入所
1973年 米国スタンフォード研究所派遣
1985年 経営コンサルティング部長、主席コンサルタントなどを経て
1989年多摩大学経営情報学部教授に就任
1998年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科(現:商学研究科)教授に就任。早大アントレプレヌール研究会理事。
2013年多摩大学大学院ビジネススクール客員教授に就任
主に、中堅・ベンチャー経営、流通・サービス産業、経営戦略に関する調査・研究、コンサルティング活動を続けている。日本ベンチャー学会理事。

朱 偉徳 ファーイースト・パートナーズ株式会社 代表取締役
上海市出身、1988 年来日。化学メーカー海外部中国室総括担当を経て、企業派遣で早稲田大学ビジネススクール経営管理学修士(MBA)取得。
2002 年早稲田大学商学学術院 総合研究所 WBS 研究センター招聘研究員。
2003 年同センター「日中ビジネス推進フォーラム」事務局長。
2007 年賽迪顧問股份有限公司(CCID コンサルティング) 日本事務所 代表。
日中社会の事情と双方の企業に精通したコンサルタントとして多岐にわたる活動を行っている。

《共催企業のご紹介》

毎日新聞社 「日中企業家高峰フォーラム」

創刊 1872 年 3 月 29 日(明治 5 年 2 月 21 日)の、日本の大手全国紙。
「日中企業家高峰フォーラム」は 2009 年 11 月 23 日に毎日新聞社と中華全国青年連合会により発足し、具体的な運営については毎日新聞社と中国青年報社が共同で進めている取組みで、日中企業家に交流の場を提供することで日本企業と中国企業が相互理解を深め、互いに刺激し合い、経済協力関係の強化と「世界から尊敬されるアジア発のグローバル企業」創出を目的としています。

賽迪顧問股份有限公司 「CCID 日本事務所」

賽迪顧問股份有限公司(CCID)は、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004 年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。市場調査やマーケティング戦略・販売チャネルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。

現在は北京本社のほか、上海や広州、深セン、ハルビンに支社、日本や米国、韓国、イタリア、オーストラリア、シンガポールに事務所を置いており、300 名以上のアナリスト・リサーチャーを有しています。中華圏のみならず、欧米や日本、ヨーロッパに取引先を拡張し、世界的に高い知名度を誇っています。

【日本事務所】

- 名 称: CCID日本事務所
- 設 立: 2007 年 10 月
- 代 表: 朱 偉徳(ファーイースト・パートナーズ株式会社 代表取締役)
- 役 割: 中国市場調査サービスのご提供(市場レポート、市場データ、受託調査)
- 所在地: 東京都新宿区西早稲田 1-22-3 (ファーイースト・パートナーズ株式会社内)

ファーイースト・パートナーズ株式会社 www.j-fep.co.jp

中国ビジネスに特化した人材・市場調査コンサルティング会社です。2002 年設立、現在は東京に本部を置き、中国現地法人及び提携先との連携により、現地に融合したコンサルテーションサービスを展開。企業様の視点からマーケットインでのサービス提供をモットーとしています。

参加申込書

FAX番号:03-5287-5831

文末の個人情報の取り扱い内容をご理解の上、下記太線の枠内に必要事項をご記入、該当する欄に○かチェックを入れてください。なお、ホームページからのお申込みもできます。www.wjcf.net

【お問合せ先】

早稲田大学商学大学院 総合研究所 WBS 研究センター
日中ビジネス推進フォーラム(WJCF)事務局
TEL. 03-5287-5578

<input type="checkbox"/>	WJCF 会員
<input type="checkbox"/>	非会員
<input type="checkbox"/>	学生

	中国市場における「省(商)圏」の実像と日本企業の商機 日時:2014年5月27日(火)14:00~17:55 受付13時10分~ 参加費:無料
	懇親会(立食式、国際会議場第2会議場) 日時:2014年5月27日(火)18:00~20:00 定員:60名(定員になり次第、受付を終了させていただきます) 参加費:会員無料

勤務先	電話:
所属部署	役職:
お名前	フリガナ _____
住所	
E-mail	(参加証などの諸連絡は電子メールで送付いたしますので、必ずご記入ください)

■個人情報の取り扱い

- ・ご記入頂いた個人情報は、当フォーラムの運営管理に利用させていただきます。なお、今後当フォーラム主催の中国ビジネスに関連するセミナーについてご案内させて頂く場合がございます。
- ・当フォーラム主催するセミナーなどへのご案内を行う際、お客様の個人情報を宛名データ作業はすべて当事務局内で行い、業務を外部に委託することは一切いたしません。
- ・個人情報の開示、訂正、利用停止などについて、上記お問合せ先までご連絡ください。

■[事務局記入欄]

受付日	/	入力日	/	受講No.	請求No.	備考
-----	---	-----	---	-------	-------	----